



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月10日

上場取引所 名

上場会社名 中部水産株式会社

コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 健雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3110

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,293	△1.5	21	—	92	45.5	52	—
23年3月期第2四半期	20,607	△4.1	△13	—	63	△53.5	△17	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	2.83	—
23年3月期第2四半期	△0.94	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,692		12,039		12,039	81.9
23年3月期	14,288		11,966		11,966	83.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 12,039百万円 23年3月期 11,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	—	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	42,200	△1.0	50	24.5	180	1.8	100	—	5.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	21,269,000 株	23年3月期	21,269,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	2,668,374 株	23年3月期	2,667,919 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	18,600,962 株	23年3月期2Q	18,603,012 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1.(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災、その後の原発問題により企業の生産活動の縮小や消費マインドの冷え込みに加え、円高の進行や世界的な金融市場の混乱も重なり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、震災により三陸方面からの入荷量が大幅に減少するなど集荷面で難しい対応となりました。販売面では、消費者の節約志向や低価格志向が一段と強まり、市場内外での販売競争の激化も加わって、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のもとで、当社は、震災による業績への影響を最小限に止めるため集荷、販売活動を積極的に展開するとともに、企業体質の強化のための諸課題に全力で取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、飼料工場など工場部門が伸長しましたが、卸売部門が三陸方面からの入荷減もあって取扱数量が減少し、20,293百万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。利益面については、売上総利益率の改善と諸経費の削減により、52百万円の四半期純利益(前年同四半期は四半期純損失17百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(卸売部門)

冷凍魚が冷アカウオ、冷サバなどの取扱増と冷チリ銀サケ、冷トラウト、冷ムキエビなどの原料販売の増加により売上増となりましたが、鮮魚がウナギ、マグロ類などの全般的な魚価高による売上増はありましたが、ホタテ貝柱、サケ、カレイ、ヒラメなど三陸方面からの入荷減の影響が大きく、減収となり、塩干魚が時サケ、カチリの不漁、シメサバなどの入荷減に加え、包装資材の不足により納豆が取扱減となり、売上高は19,106百万円(前年同四半期比2.0%減)、営業利益は169百万円(前年同四半期比6.6%減)となりました。

(飼料工場部門)

養鰻用飼料は、韓国向け輸出販売が円高のため取扱減となりましたが、国内販売が新規取引先の開拓に加え、品質面で評価を受け売上増となり、魚粉販売は、水産向魚粉が委託加工の増加により、増収となり、売上高は689百万円(前年同四半期比9.0%増)、営業利益は39百万円(前年同四半期比7.7%減)となりました。

(食品加工工場部門)

いか製品のポット商品がディスカウントストアやドラッグストアへの拡販により売上増となり、製品及び原料販売の切りイカ、あられ類の値上げも奏功し、売上高は219百万円(前年同四半期比2.0%増)、営業損失は20百万円(前年同四半期は営業損失35百万円)となりました。

(冷蔵工場部門)

青果の順調な在庫と凍菜など外国貨物の取扱数量の増加に加え、寄託者による保管先分散の動きで寄託貨物が高水準となり、売上高は220百万円(前年同四半期比4.9%増)、営業利益は19百万円(前年同四半期は営業利益1百万円)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は、58百万円(前年同四半期比2.2%増)、営業利益は29百万円(前年同四半期比15.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、14,692百万円となり、前事業年度末に比べ403百万円(2.8%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少258百万円、投資有価証券の減少105百万円、建物(純額)の減少50百万円などがありましたが、商品及び製品の増加311百万円、有価証券の増加200百万円、原材料及び貯蔵品の増加185百万円、受取手形及び売掛金の増加126百万円などによるものであります。

負債は、2,652百万円となり、前事業年度末に比べ329百万円(14.2%)増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加331百万円などによるものであります。

純資産は、12,039百万円となり、前事業年度末に比べ73百万円(0.6%)増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加95百万円などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動の結果、たな卸資産の増加等により181百万円、投資活動の結果、定期預金の預入による支出等により105百万円、財務活動の結果、配当金の支払等により74百万円それぞれ減少となったため、前事業年度末に比べ361百万円(5.7%)減少し、当第2四半期会計期間末には5,991百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

下半期につきましては、個人消費の回復には未だ時間を要すると思われ、当社を取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続くと思われまます。

このなかにあつて、被災地域からの入荷量の減少傾向は続きますので、これを補うために他地域からの集荷や輸入水産物の確保に努めてまいります。また、出荷者、仲卸業者等との連携を密にして、質の高い情報力と企画提案力を強化し、コストの削減を更に進めるなど業績の向上と経営基盤の確立を図ってまいります。

通期の業績予想につきましては、平成23年5月12日の決算発表時に公表いたしました平成24年3月期の業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,518,067	3,259,174
受取手形及び売掛金	1,883,905	2,010,666
有価証券	2,900,000	3,100,000
商品及び製品	638,034	949,945
仕掛品	19,648	35,440
原材料及び貯蔵品	295,070	480,788
その他	156,018	114,171
貸倒引当金	△9,742	△4,421
流動資産合計	9,401,002	9,945,764
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,329,772	1,278,989
その他(純額)	810,364	792,779
有形固定資産合計	2,140,136	2,071,769
無形固定資産		
	114,688	97,977
投資その他の資産		
投資有価証券	1,855,246	1,750,183
その他	805,717	876,685
貸倒引当金	△28,163	△50,171
投資その他の資産合計	2,632,801	2,576,697
固定資産合計	4,887,627	4,746,444
資産合計	14,288,630	14,692,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,251,697	1,583,666
受託販売未払金	106,141	101,227
未払法人税等	6,206	5,748
賞与引当金	61,000	59,500
その他	174,851	169,243
流動負債合計	1,599,896	1,919,386
固定負債		
退職給付引当金	563,663	570,806
その他	159,066	162,326
固定負債合計	722,730	733,133
負債合計	2,322,627	2,652,519

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,342,597	1,342,597
利益剰余金	10,930,836	10,909,118
自己株式	△1,287,793	△1,287,891
株主資本合計	12,435,640	12,413,825
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△469,637	△374,135
評価・換算差額等合計	△469,637	△374,135
純資産合計	11,966,002	12,039,689
負債純資産合計	14,288,630	14,692,208

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	20,607,553	20,293,505
売上原価	19,632,739	19,316,982
売上総利益	974,814	976,523
販売費及び一般管理費	987,937	955,278
営業利益又は営業損失(△)	△13,122	21,245
営業外収益		
受取利息	9,572	8,251
受取配当金	35,031	35,142
受取手数料	19,665	18,159
その他	12,169	9,568
営業外収益合計	76,439	71,122
営業外費用		
雑損失	—	217
営業外費用合計	—	217
経常利益	63,316	92,149
特別利益		
固定資産売却益	555	—
貸倒引当金戻入額	1,519	—
特別利益合計	2,075	—
特別損失		
投資有価証券評価損	98,108	—
その他	2,273	—
特別損失合計	100,382	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△34,989	92,149
法人税、住民税及び事業税	2,110	2,099
法人税等調整額	△19,541	37,363
法人税等合計	△17,431	39,462
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17,558	52,687

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△34,989	92,149
減価償却費	102,877	87,123
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,709	16,687
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,700	△1,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	879	7,142
投資有価証券評価損益(△は益)	98,108	—
受取利息及び受取配当金	△44,604	△43,394
売上債権の増減額(△は増加)	23,112	△148,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	△672,993	△513,421
仕入債務の増減額(△は増加)	426,957	327,055
未払金の増減額(△は減少)	△177,415	△21,250
未払費用の増減額(△は減少)	9,448	9,279
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,818	—
その他	△14,895	△39,116
小計	△313,741	△227,577
利息及び配当金の受取額	44,772	43,046
法人税等の支払額	△4,208	△3,981
法人税等の還付額	9,267	7,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	△263,910	△181,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,500	△134,500
定期預金の払戻による収入	30,500	31,500
有形固定資産の取得による支出	△45,610	△3,085
無形固定資産の取得による支出	△20,542	—
投資有価証券の取得による支出	△1,185	△1,246
その他	1,147	1,649
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,191	△105,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△418	△98
配当金の支払額	△74,334	△74,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,752	△74,825
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△404,854	△361,570
現金及び現金同等物の期首残高	6,455,106	6,352,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,050,252	5,991,236

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	19,493,249	632,294	215,074	210,175	56,759	20,607,553	-	20,607,553
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,609	-	4,956	48,525	-	64,092	△64,092	-
計	19,503,859	632,294	220,031	258,701	56,759	20,671,646	△64,092	20,607,553
セグメント利益 又は損失(△)	181,399	42,364	△35,351	1,812	26,071	216,295	△229,418	△13,122

(注) 1 セグメント利益の調整額△229,418千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	19,106,374	689,199	219,387	220,512	58,031	20,293,505	-	20,293,505
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,466	-	1,952	48,048	-	63,468	△63,468	-
計	19,119,841	689,199	221,340	268,561	58,031	20,356,974	△63,468	20,293,505
セグメント利益 又は損失(△)	169,357	39,118	△20,203	19,950	29,984	238,207	△216,962	21,245

(注) 1 セグメント利益の調整額△216,962千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。